

# KIHA 北名古屋市 国際交流協会会報

発行者 北名古屋市国際交流協会

〒481-8531 北名古屋市役所（西庁舎3階）

TEL 0568-22-1111（内線）2376

Vol. 4

2009.7



協会章ができました。  
「北」をモチーフに、人と人のコミュニケーションを表現しました。  
地域での交流を通じて相互理解を深め、  
お互いを尊重することで  
より良いまちづくりを目指すイメージです。



カルタで日本語

本協会では、昨年の11月から日本語がほとんど話せない児童・生徒を対象に「日本語教室」を始めました。外国人登録によると、現在北名古屋市には、約千五百人の外国人が住んでみえますが、その中には日本語がほとんど分からない方もみえて、特に市内の小中学校ではその対応に困って見えます。そこで、とりあえず生活に必要な日本語の読み書きを習得していただこうと、本協会がボランティアの力を借りて子ども日本語教室を開設することになったのです。

## マンツーマン方式で 子ども日本語教室

教室は、毎週木曜日は在籍する学校で、土曜日は市のコミュニティセンターで開催されていて、現在14名が学んでいます。対象となる児童生徒は、国も、学年も、在日期间も、日本語の習熟度もそれぞれ違いますので、マンツーマンで教える必要があります。生徒の数だけボランティアを確保して行っております。学校教育の一環ということで、受講料はいただきません。小学生は在籍する学校で行うなど、きめ細かな対応が喜ばれ、事業は順調に推移しております。

4月17日からは主に社会人などを対象とした日本語教室もコミュニティセンターを会場に始まりました。



アドバイザーの指導を受けて

平成  
21年度  
事業

## 多文化共生社会づくりに向けて、 人材の育成と交流を重点に

4月11日、市文化勤労会館において、協会の通常総会が開催され、平成21年度の事業計画が決定しました。

### ●本年度の重点目標

- ・多文化共生社会づくりを担う人材の育成
- ・外国人と市民との交流を促す仕組みづくり
- ・国際交流・国際理解事業の推進

### ●事業計画

- ・国際フェア  
市内在住人口の多い韓国、中国、フィリピン、ブラジルの皆さんを中心にボランティア、友好都市、国際交流団体等の協力を得て行う交流事業です。
- ・万博絵画展示  
上海万博に展示する絵画を募集します。
- ・多文化共生社会づくり講座  
会員やボランティア、一般市民を対象にした専門家による5回程度の連続講座です。
- ・国際交流子ども芸術教室  
芸術創造活動を通して留学生と児童生徒の交流を図ります。

### ・国際交流ボランティア講座

協会のボランティアのための講座です。

### ・通訳ボランティア派遣

要請に応じて通訳ボランティアを団体や企業などに派遣するもので、会員には補助がありません。

### ・韓国語・中国語講座

引き続きの開設です。

### ・日本語ボランティア講師の研修・養成講座

### ・子ども日本語教室

引き続きの開催です。

### ・日本語教室

基礎的な日本語の習得と資格取得をめざす外国人のための教室です。

### ・国際交流事業補助

市内で行われる国際交流事業に補助します。

### ・外国語学習事業補助

市内で行われる外国語学習講座等に補助します。

### ・国際交流教材等の作成

県国際交流協会の「フレンドシップ交流推進事業」に参加し、国際交流教材の作成などを行います。

### ・機関紙発行

協会の活動や催事の紹介、各種講座等の案内、会員募集などを掲載した機関紙を発行します。

### ・協会章（バッジ）等の製作

## 平成20年度事業報告

### ・韓国フェア

11月16日、務安郡、韓国観光公社、大韓民国民団愛知県新西支部などの協力を得て、韓国と務安郡の生活や文化、観光、物産の紹介などを行い、約700人の入場者を集めました。



### ・万博絵画展示

サラゴサ万博（スペイン）のテーマ「水のある風景」に合わせて前年度募集した絵画の優秀作品がサラゴサ市内で展示されました。応募作品総数6471点、市内の小中学生から268点の応募があり、最高賞である万博大賞などを獲得、好成績をあげました。万博のあと東京、名古屋でも展示されました。

・韓国語講座

引き続き4月から初級2講座（夜間・昼間）を開設しました。

・中国語講座

10月から初級講座（夜間）を開設しました。

・日本語教室ボランティアの講習会と見学会  
・子ども日本語教室

日本語がほとんどわからない児童生徒を対象に毎土曜日の午前と毎木曜日の午後

しました。

・外国人の子どものための

日本語ボランティア養成講座

県の日本語学習支援基金が県下5か所で開催したもの一つを市内に誘致、開催しました。

・日本語教室指導

日本語学習支援基金からアドバイザーの派遣を受けました。

・国際理解講座

ジョン・ギャスライトさんを講師に、2月に2回連続講座を開催しました。

・ボランティア登録

通訳・翻訳12名、イベント22名、日本語教室45名、生活相談1名の合計80名を新たに登録しました。

・機関紙の発行

7月と11月に市の広報に折り込み全戸に配布しました。

・友好都市提携調査

4月下旬に韓国全羅南道務安郡を訪問、調査しました。

・国際交流事業補助

団体等が行う国際交流事業2件に補助しました。

・国際交流教材等の作成

県国際交流協会の「一市町村一国フレンドシップ交流推進事業」に参加し、国際交流教材を作成しました。

・外国人向け「生活ガイドブック（日本語・英語・ポルトガル語併記）」作成

・協会章（ロゴマーク）の制定

平成20年度協会収支決算（単位：円）

【収入の部】	
負担金（会費）	517,000
補助金	6,300,000
諸収入	599,342
繰越金	251,132
計	7,667,474
【支出の部】	
事務費	783,954
（旅費・交際費・消耗品費・食糧費・印刷製本費・役務費・備品購入費）	
事業費	6,461,713
（報償費・旅費・消耗品費・食糧費・印刷製本費・役務費・委託料・負担金・補助金）	
計	7,245,667
【次年度繰越金】	421,807

平成21年度協会予算（単位：円）

【収入の部】	
負担金（会費）	515,000
補助金・助成金	6,540,000
（市補助金・県基金助成金）	
諸収入	493,000
繰越金	421,000
計	7,969,000
【支出の部】	
事務費	990,000
（報償費・旅費・交際費・需用費・役務費・備品購入費・負担金・補助及び交付金）	
事業費	6,939,000
（報償費・需用費・委託料・負担金・補助及び交付金）	
予備費	40,000
計	7,969,000

予算、決算とも詳しくは協会までお問い合わせください。

「務安とソウルの旅」  
参加者募集

（韓国の「ふるさと（務安）」と「今（ソウル）」を巡る）

北名古屋市の友好都市となった務安郡とソウル市をめぐるツアーに参加しませんか。

務安郡は韓国東南部にあり、黄海沿岸は小さな半島や島、湾が入り組み、美しい景観を見せています。務安干潟は水鳥の飛来やタコ漁などで名高くラムサール条約登録地です。新鮮な海産物、黄土で栽培されるミネラル分が豊富な農産物は人気があります。近年は、務安国際空港、高速道路などインフラ整備が進み、大きく変貌しつつありますが、韓国の伝統的な生活を見ることが出来ます。ソウル市はもちろん韓国の首都、現代韓国の活力と韓国の歴史を見ることが出来ます。宿泊は、美しい港町「木浦」とソウルで、いずれもホテルです。

・期 日 平成21年10月1日（木）～4日（日）

・募集定員 20名程度（応募者が定員に達しないときは中止することがあります。）

・対象者 18歳以上の市内在住、在勤、在学の方。

・費用 10万円程度

・行程（予定）

- 〔1日目〕 中部空港→仁川空港→木浦市内見学、木浦（泊）
- 〔2日目〕 木浦→務安郡内見学（体験を含む）→木浦（泊）
- 〔3日目〕 木浦→ソウル（市内見学、泊）
- 〔4日目〕 ソウル市内見学→仁川空港→中部空港

・申し込み 7月31日（金）までに所定の用紙に必要事項を記入のうえ、予約金2万円を添えて協会までお申し出ください。

〔旅行企画・実施〕 名鉄観光サービス（株）  
〔協力〕 北名古屋国際交流協会

## 私たちの国際交流③

### GSEチームの

### 視察研修のお世話

ロータリー財団事業の一つに、職業と文化について他国との交流と親睦の場を作り、真の国際交流を促進することを目的とする研究グループ交換制度（GSE）があります。わがロータリークラブでは、昨年11月下旬にこの制度によるアメリカ・オハイオ州からの5名を受け入れ、視察研修のお世話をしました。市内では、文化勤労会館のカラクリ人形、歴史民俗資料館、回想法センターを案内、過去を回想することで老人の健康と気力の維持が図られることに興味を持たれたようです。西春小学校では4年生の授業を参観、音楽の授業では、打ち解けてメンバーも子供達と一緒に踊りだしました。西春中学校では、日本の最先端を行う新装のエコ校舎を見学の後、先生方と通訳なしの意見交換を行いました。有意義なディスカッションができたと思います。短い滞在でしたが、会員やステイ先家族などの食事をやカラオケなどもあって日本を楽しんでいただけたと思います。もちろん、本来の目的である工場見学なども多く組み入れ、外国人労働者の受入状況など、意見交換も行うことができました。（尾張中央ロータリークラブ 赤堀博宣）



### 国際交流事業補助金の対象事業募集

協会では、市内で実施、開催される国際交流事業について、その経費の一部を補助します。

#### ・補助金額

対象経費の50%以下で、1事業につき10万円を限度とします。

#### ・申し込み

所定の申請書に必要事項を記載し、7月31日までに協会へお申し込みください。（平成21年4月1日以降すでに実施中の事業や終了した事業も対象となります。）

### 外国語学習事業補助金の対象事業募集

協会では、市内で開催される外国語学習講座等について、その講師料等の一部を補助します。

#### ・補助金額

講師料等の50%以下で、1講座等につき5万円を限度とします。

#### ・申し込み

所定の申請書に必要事項を記載し、7月31日までに協会へ提出してください。（平成21年4月1日以降すでに始まっている講座等も対象となります。）

### 多文化共生社会づくり講座（第1回）

協会では、多文化共生社会づくりを目指して、市民のための講座を始めます。第1回は、「ベトナム・カンボジアの今」と題して、現地で青年海外協力隊員として活動された方を招いて、その実情と国際交流活動の現場をお話ししていただきます。

#### ・日時

7月12日（日）午後1時30分～3時30分

#### ・場所

市文化勤労会館研修室

#### ・講師

宮沢彰（ベトナム）・小元加奈（カンボジア）

#### ・定員

30名

#### ・申し込み

7月10日（金）までに協会へ電話、はがき、ファックス、メール等でお申し込みください。先着順に定員に達するまで受け付けます。

### 日本語教室受講生の募集

日本語の基礎を学ぼうとする外国人（原則として市内在住又は市内在勤・在学の方）のために日本語教室を開設しております。

#### ○子ども日本語教室

児童生徒を対象に日常生活に必要な基礎的な日本語を教えます。

#### ・申し込み

市内の小中学校に在籍の児童生徒は、学校へ申し出てください。その他の方は、所定の申込書に必要事項を記載し、協会へ申し込んでください。

#### ・開設場所

原則として小学生は在籍の学校、中学生はコミュニティセンター

#### ・開設時間

学校は木曜日の午後、コミュニティセンターは土曜日の午前

#### ・費用

年間1000円（資料代）が必要です。

#### ○日本語教室

主に社会人が対象です。基礎的な日本語の習得及び資格取得をめざす外国人のための日本語教室です。

#### ・申し込み

所定の申込書に必要事項を記載し、協会へ提出してください。

#### ・開設場所

市コミュニティセンター

#### ・開設時間

金曜日の夜間

#### ・費用

1か月につき1000円の受講料が必要です。

各種申し込み、お問い合わせ等は、左記までお願いいたします。

〒481 8531 北名古屋城西之保清水田15

北名古屋市府所（西庁舎）内

北名古屋国際交流協会

電話 0568-1(22)-11111 内線2376

ファックス 0568-1(25)-18000

メール kokusai@city.kitanagoja.lg.jp